



▲「ひっぱり君」に興味津々



## 竹生小の児童が『白神ねぎ』の定植に挑戦！ 営農企画課

地元の特産の野菜を作ってみようという能代市立竹生小学校の5、6年生の児童8人が総合的な学習の時間で『白神ねぎ』づくりに挑戦しました。5月31日に行われた定植作業は、同校でさつまいもやかぼちゃなど栽培している「竹っ子農園」の一部を使い、約15mの畝2列に『白神ねぎ』を植えました。

J A担当者や農業技術センター職員の協力のもと、児童たちは肥料を与え、一生懸命「ひっぱり君」を使って定植作業を楽しみました。児童からは「ひっぱり君が重かったけどまっすぐ植えることができて楽しかった」や「白神ねぎを植えたあと自慢できる」といった感想が聞かれました。今回定植した『白神ねぎ』は同校で9月に行われるなべっこ遠足の材料に使われます。



▲担当者の説明を熱心に聞く児童たち

## 自慢の健苗で育苗技術を競う

稲作部会

稲作部会（堀内直富久部会長）は5月10日、苗の生育確認と生産者の育苗管理向上を目的に、管内3地区合同の健苗コンクールを実施しました。

コンクールには昨年より19点多い40点の健苗が出品され、J A営農指導員や山本地域振興局農業振興普及課職員が、葉の色や根の張り具合、苗揃えなど審査し、特に優れた健苗10点に絞り込み、発根長や乾物重などを測定した結果、袴田謙さん（能代）の苗がみごと最優秀賞に輝きました。優秀賞・優良賞は以下の通りです。

- ▽優秀賞＝斉藤正幸、アグリ檜山、渡辺俊一、大高良子
- ▽優良賞＝大塚徹、大塚信雪、大塚忠之、工藤武一郎、安井鐘悦



▲審査員が農家自慢の苗を厳しく審査



▲表彰を受ける五十嵐所長

## 個人貯金部門で最優秀賞を受賞 能代厚生医療センター出張所

貯金や融資など推進実績の優れた店舗を表彰する、第6回J Aバンクあきた推進大会が秋田市のキャッスルホテルで5月23日に開催されました。

大会では、今年度の取り組み事項についての報告のほか、個人貯金部門や年金部門など4部門での優績店舗の表彰が行われ、当J Aの能代厚生医療センター出張所が個人貯金部門で最優秀賞を受賞しました。出張所の五十嵐所長は「皆様のご協力、そして窓口職員の頑張りでご受賞できました。さらにより良い店舗となるよう、これからも職員の指導に努め、今年度も同様に受賞を目指していきたいです」と話してくれました。

